

**2024 年度 まちのつながり応援事業
支援内容説明会・相談会 開催レポート**

2025 年 3 月 31 日
認定 NPO 法人サービスグラント

1. はじめに

町会・自治会は地域住民の互助のシステムとして中核的な役割を担っていますが、同時に高齢化や加入率の低下等様々な問題を抱えていると言われています。一方で、「いろんな世代が集えるような場づくりに取り組みたい」、「新しく引っ越してきた人も気軽に関われるようなまちにしたい」など、顔の見える繋がりづくりや、幅広い住民の関わるまちづくりに取り組む町会・自治会もあります。

地域の課題解決に向けて積極的にチャレンジを行う町会・自治会を対象に、仕事の経験やスキルを活かした社会貢献活動「プロボノ」で会の活動基盤強化を支援する『2024 年度 まちのつながり応援事業』の実施にあたり、支援内容説明会を実施しました。

支援内容の説明に加え、過去支援先の事例紹介および自団体の課題の棚卸しと整理を行う「支援活用検討ワーク」を同時開催し、支援の具体的なイメージをお持ちいただくことで 2024 年度の支援申込につながることを目指しました。

2. 実施概要

○開催日時と開催場所

- ・ 第1回 2024年 6月16日（日）14:00-16:30

会場：新宿NSビル 3 階G会議室

定員：30団体（1団体あたり2名まで）

- ・ 第2回 2024年 6月26日（水）14:00-16:30

会場：新宿NSビル 3 階G会議室

定員：30団体（1団体あたり2名まで）

- ・ 第3回 2024年 7月4日(木) 14:00-16:30

会場：新宿NSビル 3 階G会議室

定員：30団体（1団体あたり2名まで）

※第3回のみオンライン参加も可能（オンラインは定員15団体）

○開催スケジュールとプログラム内容

内容	時間
1. 本日の流れ、開会のご挨拶	5分
2. 事業の紹介 支援内容の紹介（プロボノについて、支援プログラム紹介）	10分
3. ゲストトーク①まちの応援プロボノチーム ・まちの応援プロボノチーム概要説明 ・過去支援先より1団体のゲストトーク ・ゲストへの質疑応答	30分
4. ゲストトーク②まちの情報発信講座 ・まちの情報発信講座概要説明 ・過去支援先より1団体のゲストトーク ・ゲストへの質疑応答	30分
5. お申し込みにあたって	10分
6. 中締め、休憩	5分
7. 支援活用検討ワーク ※任意参加 ・自団体の課題整理、解決策の検討、参加者同士での共有	60分
計	150分

○事前の告知方法

- ・ 区市町村担当窓口を通じたチラシ配布
- ・ サービスグラントを通じた過去イベント申込者宛のメール配信

○応募の受付方法

- ・ サービスグラント宛に所定の申込用紙をメール、FAX、またはフォームにて申し込み

3. 参加人数

	説明会(第1部)		検討ワーク(第2部)	
	団体	人数	団体	人数
6月16日(日)	17	21	14	18
6月26日(水)	14	16	7	9
7月4日(木)	13	18	7	10
7月4日(木) オンライン	20	22	7	7
合計	64	77	35	44

4. 当日の流れ

○まちのつながり応援事業の紹介、支援内容の紹介

本プロジェクトの概要、プロボノの語源からこれまでの実績と成果、町会・自治会の方々にとってのメリットや支援内容の紹介までを参加町会の皆様に説明しました。

【写真】

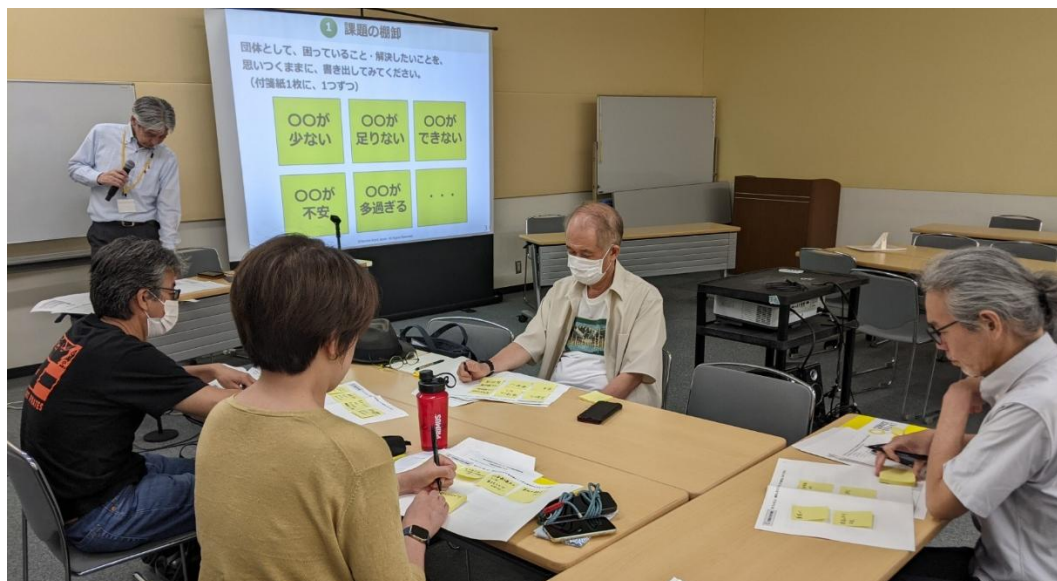
第1回説明会の様子



第2回説明会の様子



第3回説明会の様子



オンライン開催の様子



〇プロボノ活用事例紹介

過年度のプロジェクトにおいてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

ゲスト

第1回

立川一番町東団地自治会（立川市）代表 福井 茂 氏/会計 松田 修三 氏：2023 年度個別支援参加
鷺宮四丁目町会（中野区）会計幹事・渉外関連担当役員 斉藤 百合 氏：2023 年度実践講座参加（LINE 公式アカウント）

第2回

新中町町内会（町田市）高橋 和彦 氏：2023 年度実践講座参加（ホームページ）
立川一番町東団地自治会（立川市）代表 福井 茂 氏/会計 松田 修三 氏：2023 年度個別支援参加※ 第1回の映像を使用

第3回

中十条三丁目町会（北区）副会長 佐藤 晃 氏：2022 年度個別支援参加

鷺宮四丁目町会（中野区）会計幹事・渉外関連担当役員 齊藤 百合 氏：2023 年度実践講座参加（LINE 公式アカウント）※第1回の映像を使用

【写真】 ゲストトークの様子

（第1回：立川一番町東団地自治会）



（第1回：鷺宮四丁目町会）



（第2回：新中町町内会）



（第3回：中十条三丁目町会）



○支援活用検討ワーク

目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題と、考え得る解決策を挙げ整理しました。

・支援活用検討ワークの目的

団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

・支援活用検討ワークの流れ

- ① 課題の明確化
課題を洗い出し、明確化
- ② 課題の整理

「町会のありたい姿」を思い描き、夢や理想に照らし合わせて課題を整理

③ 解決の方向性検討

解決策のアイデア出し

・支援活用検討ワークの内容

課題整理ワークショップでは、ワークシートを使用しました。

まず、団体として困っていることや解決したいことなどの課題をワークシートに記入します。こうすることにより、漠然としていた課題や、日々の業務によって忙殺されていた悩みが整理・棚卸されるとともに、課題が可視化されることによって、解決策の検討に進むことができます。

次に、団体の「町会・自治会の活動を通じて実現する地域のありたい姿（夢・理想）」を箇条書きで記入します。具体的なありたい姿を記入することにより、多くの課題の中から闇雲に取り組むのではなく、どの課題解決から着手する必要があるか、緊急度と重要度の四象限の中で優先順位を検討することができます。また、重要度の高い課題について「それぞれに、どのような解決策が考えられるか」「全体として、どのような解決策が有効と考えられるか」を、書き出しました。

さらに、書き出した課題の解決策について「自前で解決できること」「自前では解決できないけど、「お金」があれば解決できること」「自前では解決できないけど、「スキル」があれば解決できること」に分類しました。分類ごとに色分けしたシールを貼ることで、重要度の高い課題とその解決策、解決にあたって必要となるリソースやプロボノ活用の可能性が明確になりました。

【ワークシート】

① 付箋貼り付け用紙 困っていること・解決したいことを付箋に1つずつ書き出してみてください

書き出しのヒント

以下のような切り口で困っていることはありますか？

その課題があると、どんなことが起きますか？
背景や原因を探っていくと…

例えば…

運営の課題

活動の課題

情報発信の課題

役員の固定化

たくさんの業務をこなせない

決まった人に業務が集中している

役割分担がうまくできていない

新しい担い手がない

若い世代との接点が少ない

町会活動に関心を持たれていない

©Service Grant Japan

② ありたい姿と課題整理

団体名 _____ お名前 _____

町会・自治会の活動を通じて実現する、地域のありたい姿（夢・理想）

-
-
-

		重要度：高	
緊急度：低			緊急度：高
	重要度：低		

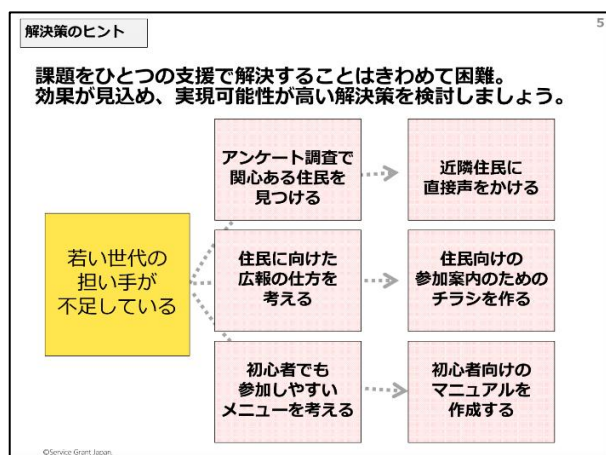
③ 解決策の検討

団体名 _____ お名前 _____

解決策の選択域

重要度の高い課題

4/分類：スキル＝緑 自分たち＝赤 お金＝青



5. 参加者アンケート

○件数

回答数 42 名（回収率 57.5%）

○結果

「支援内容説明会」ご参加日をお選びください

回答数 42件

6月16日(日) 14:00-16:30		15件 (36%)
6月26日(水) 14:00-16:30		13件 (31%)
7月04日(木) 14:00-16:30		14件 (33%)

1.「まちのつながり応援事業」全体の概要について、理解が深まりましたか？

回答数 42件

非常にそう思う		16件 (38%)
そう思う		26件 (62%)
あまりそう思わない		0件 (0%)
全くそう思わない		0件 (0%)

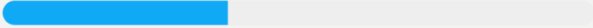
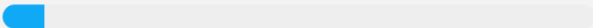
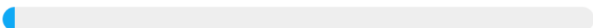
2.支援プログラム「まちの応援プロボノチーム」「まちの情報発信講座」について、理解が深まりましたか？

回答数 42件

非常にそう思う		15件 (36%)
そう思う		24件 (57%)
あまりそう思わない		3件 (7%)
全くそう思わない		0件 (0%)

3.ゲストによる体験談は、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考になりましたか？

回答数 42
件

非常にそう思う		16件(38%)
そう思う		22件(52%)
あまりそう思わない		3件(7%)
全くそう思わない		1件(2%)

4.ゲストによる体験談をお聞きになって、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

- ・ラインは情報に限りがあり、多いと有料になり、町会長の個人支払いとなる場合がある。
- ・LINEでの情報発信。とりわけ、一人暮らしの見守りに利用できる点。
- ・改善には時間がかかりますね。
- ・アンケートの重要性
- ・共通な課題を確認した。これからの出来る事を検討する。
- ・LINEの200通の制限について
- ・加入率について我が町会は悪くないが、町会外の非加入者を加入させる策は見えない。
- ・プロボノの支援が良いと思った
- ・HPとラインでは、当方、ラインを選ばなかった。ラインを選んだ理由を知りたかった。
- ・鷺四の公式LINEの活用を検討したい
- ・自治会・町会自体の役員の高齢化に伴いHPメンテも含む担当役員の専任化にご苦労は非常に感じ入るところです。運営委員会の組織作りも苦となるところです。
- ・HP作成後、維持継続していくには、担当者の確保や、担当部署設置などが重要との意見は参考になりました。
- ・ひとりに負担が集中しないしくみづくり、人材育成も実現させたい
- ・運営委員会の立ち上げ
- ・新鮮なコンテンツを持続的に作る必要性
- ・ホームページを作成しても、メンテ、情報の提供が難しい。
- ・同じ悩みを持っている自治会町会が多いことがわかりました。
- ・町田市の新中町町内会高橋氏の発表が参考になった。（ホームページ導入の苦労話について）
- ・現状の棚卸について、今出来るところから始めようという気になった。先ず分かる範囲で整理した後に、まちの応援プロボノチームに相談したいと考える。
- ・悩みはどこの自治会も同じで、解決策についてはこれまでの事例を参考にしていきたいと思います。
- ・実効性のある防災マニュアルの作成を考えているところで複数の選択肢からプロボノの可能性もありかと思いました。
- ・どの町会・自治会様も悩みは一緒だと思いました。地道に輪を広げる努力が必要かと思いました。
- ・自治会内での意思統一の難しさ。
- ・住人がほとんどいない町会組織であることでの課題の違いを再認識しました。

5.ゲストによる体験談をお聞きになって、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？ 自由にご記入ください。

- ・情報を多くの人に発信したいと思っていたが、可能であることが分かった。しかし、どの方法で行えばよいかが分からない。
- ・SNSは必須ですね。
- ・LINEの最大限の活用
- ・人手
- ・すでにある市民活動とのかけ算？
- ・アンケート
- ・HPを作成して、QRコードで自治会案内を発信したい。
- ・今後、検討していきたい
- ・町会自治会と同町会内のマンション自治会（管理組合）との連携方法の模索
- ・HP立ち上げに多大なご協力を受けなければと感じます
- ・情報発信のためのHP作成および、スマホによる情報受け取りの講習会を活用させていただきたいと思いました。
- ・IT系 公式LINE,公式HP作成・運営、google使いこなし
- ・金融系 信金、銀行とのお取引、会計のやり方
- ・法律系 ネットリテラシー、トラブル対応、防ぐ方法
- ・町会の世帯全体に近い状況でコミュニケーションが取れる方法があればアドバイス欲しい
- ・高齢者のデジタルデバインドが問題であり、事例を共有する場の共有を今後もお願いしたい。
- ・町会員の加入率の上昇、役員の担い手の勧誘、SNSを利用した情報発信をして参りたい。
- ・支援内容によっては、外部の力を利用したいと思います。
- ・ありがとうございます。役員の担い手不足、次世代の継承、現状の運営方法の見直し
- ・自治会役員の総合的なスキルアップの支援
- ・是非、活用したいと思います。どこから手を付けるべきか……。会長と相談してから……。
- ・帰宅困難者を受け入れるための計画・マニュアル策定をしたい。新規会員獲得のための取組等たくさんあり……。整理します。

6.支援プログラムについて伺います。説明をお聞きになり、今後、支援プログラムを活用したいと思いましたが？当てはまるものにチェックをつけてください。

回答
数 40
件

ぜひ活用したい		13件(33%)
前向きに検討したい		22件(55%)
検討はするが懸念する点がある		5件(13%)
今回はおそらく見合わせる		7件(18%)

検討はするが懸念する点がある：内容

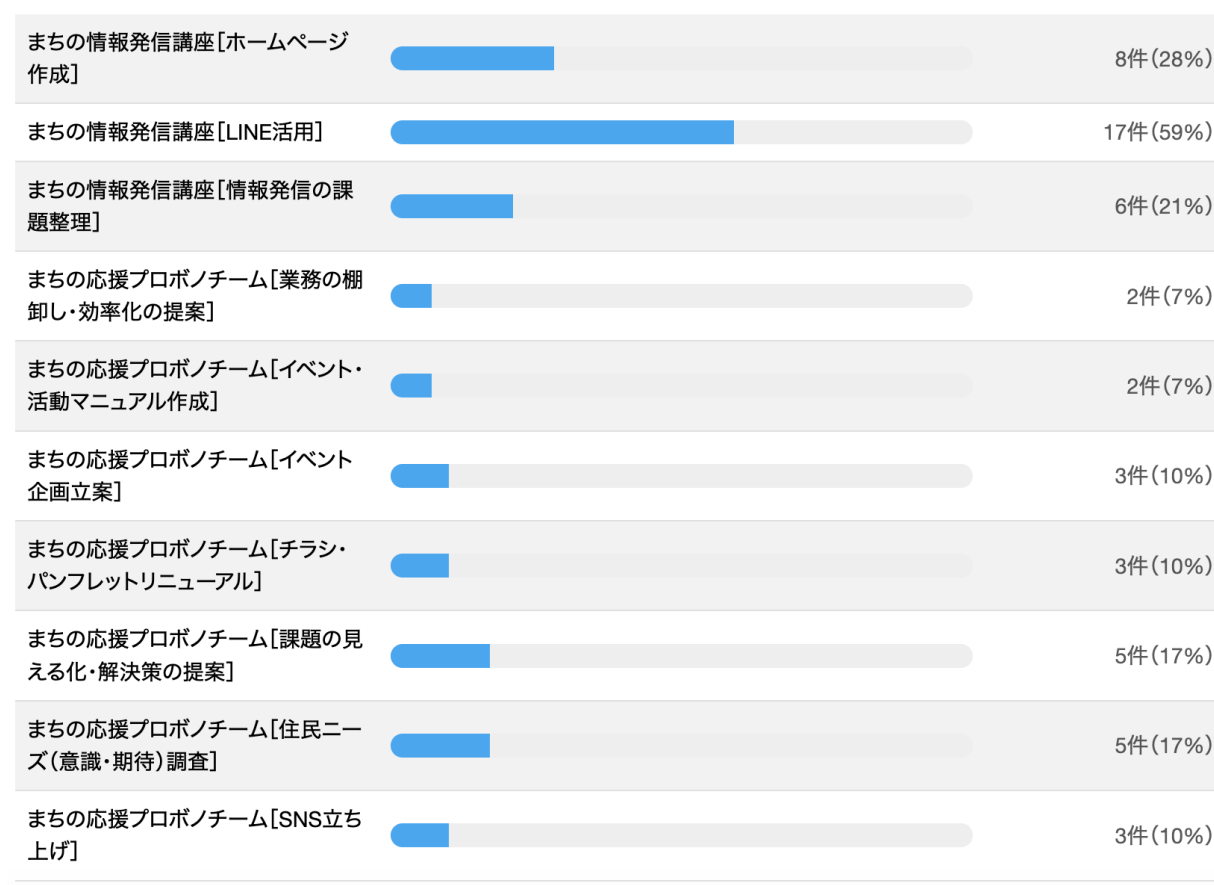
- ・私自身はネット環境があるが、町会のネット環境がない（予算の都合で）
- ・自治会のあり方をまず考えたい

- ・町会での承認が取れるか？
- ・日程がフィックスしていること
- ・役員が高齢なため超消極的

今回はおそらく見合わせる：理由

- ・対応する役員が少なく、賛成が得られるかが分からない
- ・10/19は町会のお祭りとなっていて1回目から参加できないため
- ・非常に良い企画、プロジェクトだと思いました。但しテーマについて当自治会は高齢化（超がつく）と新入居者の未加入化が急激に進行中で、役員の成り手がどんどん減っており、自治会をいかに運営するか、持続させるかの何かヒントかと思っていました。「的はずれ」の参加で大変失礼いたしました。
- ・ホームページ作成、LINE活用以外は、現在町会内で対応できているため
- ・役員会で検討後に決定となりますので

**「ぜひ活用したい」「前向きに検討したい」を選んだ方に伺います。検討されているコースはどちら
でしょうか？(複数選択可)** 回答数
29件



7.その他現在、関心をお持ちの支援内容があればご記入ください。

- ・LINE活用
- ・情報発信
- ・LINEでつながりたい住民への情報伝達
- ・防災リーダープログラム

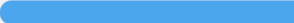
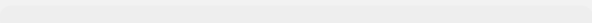
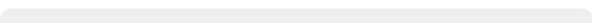
- ・HP作成
- ・会費などの収集方法、LINEの活用
- ・防災訓練を改善したいと思っています
- ・自治会員の意識（自治会活動や地域に対して）を高めるセミナー等に関心があります
- ・HP まちの情報発信講座
- ・スマホ講習会
- ・HP作成、会計のデジタル化
- ・防災アプリを有効に利用している町会・自治会があればご紹介いただきたい
- ・イベントの企画立案、参加者の上昇。
- ・自主防災組織の運営が課題になっています。
- ・自治会加入率アップの為の支援・方法
- ・ホームページ作成

8.本事業について質問や相談事項、ご意見やコメント等があれば、ご遠慮なくご記入ください。

- ・今後もどしどし実施してください。
- ・LINEの有料サービスを使うときに認証団体として認められないのが本当かどうか
- ・失敗例も教えてほしい
- ・名称変更したり、内容がわかりにくい。名称の点、例えば両方に「まちの」がつくのはナンセンス！
- ・どういう分野のプロの方がご相談にに応じていただけるのか
- ・分野とか人材リストはないのでしょうか？依頼者の要望をまとめるのは結構大変である
- ・正直、会長として進めたいが、全てが私に仕事が集中しており、高齢化した役員（先輩）には頼めない。

9.支援活用検討ワークは、プロボノ支援の活用についての検討や、町会・自治会活動の参考になりましたか？

回答数 26
件

非常にそう思う		13件(50%)
そう思う		13件(50%)
あまりそう思わない		0件(0%)
全くそう思わない		0件(0%)

10.今回の支援活用検討ワークを通じて、新しい発見やあらためて気づいたこと・確認できたことなどは何かありましたか？自由にご記入ください。

- ・ラインでの情報発信がある事が分かりました。
- ・どこも似た課題がありますね。
- ・自治会の事情によって解決策は大きく異なる
- ・他町会の活動や、実施してきた話が聞けてとても参考になった。
- ・他の町会もいろいろと問題有り
- ・自分達だけでは限界があるのをあらためて確認できました。

- ・参加各自治会・町会の皆様も同様にご苦勞の共通点多かったです
- ・他の町会での取り組みで有効と思われるものがありました。
- ・他の町会さんのお話を伺えてよかった
- ・町会のアンケート関心度確認の方法が参考になった
- ・単独町会で行わず、3町会で防災訓練という具体的な話は参考になった。
- ・個人スマホ所有率が高まっているためデジタル化が急激に進んでいる。自治会、町内会への市・区からのツールは回覧板もいらないと若い方から声が高まっています。高齢者は回覧板が無くなったら自治会は辞めると言われています。それでも近未来の自治会はデジタル対応は進める必要はありますので、当テーマは今後とも進めていただきたいと思います。
- ・客観視できました。
- ・皆様、お困り事は一緒に・・・
- ・コミュニケーションは大事。全ては継続が大事

11.今回の支援活用検討ワークを通じて、特にプロボノのような外部の力を活用して解決したいと思ったことは何かありましたか？自由にご記入ください。

- ・とにかくHPの立ち上げにたどり着けるのか不安は残っていますが頑張ります！
- ・IT,法律、金融、何かクリエイティブなこと
- ・PR資料作成等協力をお願いしたい
- ・町会加入率の上昇
- ・防災マニュアルに興味があります。
- ・いろいろ相談させてください。
- ・課題が多いので何の取り組みをするか優先順位を検討したいです。

以上